

2020. 5. 25

畑 啓之

緊急事態宣言解除 死者が少なかった理由はホイッスル効果と集団行動？

今回の新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの方が病床につき、そして多くの方がなくなられた。亡くなられた方のご冥福を祈る、

さて、日本は諸外国に比べて人口当たりの感染者数と死者数は現在までのところ低い数値に抑えられている。この理由として、私は大きく4つの理由があるのではないかと考えている。

第一に、日本人には挨拶において肌を触れ合う習慣がないこと、そして手洗いの習慣があること。さらに、インフルエンザ等の流行期にはマスクをする習慣があること。

第2に、ダイヤモンド・プリンセス号の事例により、本ウイルスは強い感染力を持っていることが明らかになり、日本社会が警戒モードに入ったこと。(ホイッスル効果 その1)

第3に、志村けんさんの若い死が本ウイルスの恐ろしさを、直接的に日本国民に知らせめたこと。(ホイッスル効果 その2)

第4に、厚生労働省が感染ルートを地道に調べ上げ、その感染の連鎖を断つ努力をしたこと。

2月 3日	ダイヤモンド・プリンセス号入港
3月31日	志村けんさん死去
4月 7日	7都道府県に緊急事態宣言発令
4月16日	全国に非常事態宣言発令
5月14日	39県で宣言解除
5月21日	関西圏の3府県で宣言解除
5月25日	全国すべての都道府県で宣言解除

発症者数も少なくなり、新たな感染者の感染ルートがつかみやすくなった。世界各地では第二波、第三波の流行が取りざたされているが、日本はこのまま落ち着いてくれることを願っている。最近では新規感染者数ゼロを何日も続けている県があることから、希望を持っている。